

.....

.....

.....

1

## 10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

|                      |                                                                           |
|----------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| ○当事者A                | 年齢[ 49 ]歳、勤続年数[ 30 ]年、現場経験年数[ 30 ]年、階級[ 消防司令補 ]、同様の活動 [ 1年に数度 ]、任務 [ 隊員 ] |
| ○当事者B                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                         |
| ○当事者C                | 年齢[ ]歳、勤続年数[ ]年、現場経験年数[ ]年、階級[ ]、同様の活動 [ ]、任務 [ ]                         |
| その他<br>(当事者が4人以上の場合) |                                                                           |

## 11. 事例発生の経過。

|      | 誰(何)が | なにをした                              | その他・備考など    |
|------|-------|------------------------------------|-------------|
| 経過1  | 当事者A  | 建物火災原因調査のため、出動要請を受ける。              | 非番日のため自宅待機中 |
| 経過2  | 当事者A  | 自宅より直接現場に駆け付ける。                    |             |
| 経過3  | 当事者A  | 先着予防係員（上司）と協力して、原因調査活動にあたる。        |             |
| 経過4  | 当事者A  | 原因調査が一段落し、他の消防隊員と共に残火処理活動を開始する。    |             |
| 経過5  | 当事者A  | 火元建物1階居間で残火処理中、上部が崩落、退避行動をとったところ転落 |             |
| 経過6  | 当事者A  | 1m位落下、一時意識を失う。                     |             |
| 経過7  | 当事者A  | 他の隊員に介添され、現場本部まで搬送された頸部痛の応急処置をされる。 |             |
| 経過8  |       |                                    |             |
| 経過9  |       |                                    |             |
| 経過10 |       |                                    |             |

## 【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった。避難・退避がうまくいかなかった。足元の安全が確保できていなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

|                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。         | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。              | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。       | いいえ |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | はい  |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。             | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。     | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | はい  |
| ・活動に対する経験が不足していた。          | はい  |

d. 心身の不調があった

|           |     |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

|                     |     |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。   | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。  | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

|                                 |     |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。       | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | はい  |

g. 行動しにくい環境だった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。      | いいえ |
| ・暑かった（寒かった）。     | いいえ |
| ・野次馬が多かった。       | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

|                  |     |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | はい  |
| ・足元の強度が不足していた。   | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

|                                     |     |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）           | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。                    | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

|                |     |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。    | はい  |

○その他

l. その他の理由があった。

|     |
|-----|
| いいえ |
|-----|

## 【事故発生後の取り組みについて】

.....

### ○注意力欠如、焦り等の対策について

周囲の状況を確認し、安全確保がとれてから活動を開始することを再認識した。(個人)

### ○装備・資機材の対策について

高所の焼け残り部分を破壊できる資材（トビ口等）を、有効に活用する。(部隊)

### ○活動環境の対策について

落下の恐れのある物件は、あらかじめ排除又は固定するなど活動時の安全確保に努める。  
やむなく屋内進入する時は、監視員を配置するなどの対策のもと現場活動している。また、災害を想定した訓練を行いながら、技術の向上に努めている。(部隊)

### ○指揮・情報伝達の対策について

隊員同士声を掛け合い、活動中の安全を確認しあう。(部隊)

○事故事例：屋内進入による残火処理中、上部が崩落、退避の際の転落事故  
（同様の体験は、初めて体験した。）

(07J0025)

・発生日時：平成15年11月9日 午後11時頃

| 経過 | 現場の状況                               | 隊員A                                                           | 備考                     |
|----|-------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------------------|
|    |                                     | 隊員／消防司令補<br>・年齢 49 歳<br>・勤続 30 年<br>・現場 30 年<br>・同様の活動：1 年に数度 |                        |
|    | 建物火災原因調査のため、出動要請を受ける。               |                                                               | 非番日のため自宅待機中            |
|    | ↓                                   |                                                               |                        |
|    | 自宅より直接現場に駆け付ける。                     |                                                               |                        |
|    | ↓                                   |                                                               |                        |
|    | 先着予防係員（上司）と協力して、原因調査活動にあたる。         |                                                               |                        |
|    | ↓                                   |                                                               |                        |
|    | 原因調査が一段落し、他の消防隊員と共に残火処理活動を開始する。     |                                                               | 危険意識の欠如、安全確認の不足、退避路未確保 |
|    | ↓                                   |                                                               |                        |
|    | 火元建物1階居間で残火処理中、上部が崩落、退避行動をとったところ転落  |                                                               |                        |
|    | ↓                                   |                                                               |                        |
|    | 1m位落下、一時意識を失う。                      |                                                               |                        |
|    | ↓                                   |                                                               |                        |
|    | 他の隊員に介添され、現場本部まで搬送された。頸部痛の応急処置をされる。 |                                                               |                        |

| ◎事故が起きたのはどうしてだと思うか？                                                                      |
|------------------------------------------------------------------------------------------|
| ○直接的な原因：行動の意思決定に問題があった。<br>・危険情報を把握、予見できなかった。<br>・避難・退避がうまくいかなかった。<br>・足元の安全が確保できていなかった。 |

| ◎事故が起きた背後要因                                                                                                                                                                                          |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| （心理・体調について）<br>・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。<br>・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。<br>・活動に対する経験が不足していた。<br>（活動環境について）<br>・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。<br>・足元が濡いたり滑りやすかった。<br>（指揮・管理について）<br>・隊員が不足していた。 |